

(4)小学校社会科見学 学習指導要領と副読本、博物館資料との関連

ここでは現行の学習指導要領の目標、内容等と照らし合わせて博物館での学習との関連性を整理し、社会科見学等での目的や指導内容等がまとめてあります。

ア 学習指導要領改訂の趣旨

小学校社会科解説 P8

社会科見学、博物館に関する内容については次のように示されました。

- 教育環境の充実のために次のような条件整備が求められる。
- ・教科の内容に関係する専門家や関係諸機関等と円滑な連携・協働を図り，社会との関わりを意識して課題を追究したり解決したりする活動を充実させること
- ・博物館や資料館，図書館などの公共施設についても引き続き積極的に活用すること
- ・教員を対象とした研修の充実に努めること

イ 各学年の目標及び内容

[第3学年の内容]	学指要解説 小学校社会科 P13
○ 主として「歴史と人々の生活」に区分される内容 ・これまでの「<u>古くから残る暮らしにかかわる道具，それを使っていたころの暮らしの様子</u>」に関する内容を「<u>市の様子の移り変わり</u>」に関する内容に改め，交通や公共施設，土地利用や人口，生活の道具を調べるように示した。また，少子高齢化等による地域の変化を視野に入れて，内容の取扱いにおいて，『人口』を取り上げる際には，少子高齢化，国際化などに触れ」ることを示した。また，政治の働きへの関心を高めるようにすることを重視して，内容の取扱いにおいて，「市が公共施設の整備を進めてきたことを取り上げることを示した。	
[第4学年の内容]	学指要解説 小学校社会科 P14
○ 主として「歴史と人々の生活」に区分される内容 ・県内の伝統や文化に関する内容については，内容の取扱いにおいて，「<u>県内の主な文化財や年中行事が大まかに分かるようにする</u>」ことを示した。 ・先人の働きに関する内容については，内容の取扱いにおいて，<u>これまでの「開発、教育、文化、産業など」に「医療」を加えた。</u>	
[第6学年の内容]	学指要解説 小学校社会科 P16
○ 「歴史と人々の生活」に区分される内容 ・第6学年の我が国の歴史学習においては，「世の中の様子、人々の働きや代表的な文化遺産などに着目して」調べることや，「我が国の歴史の展開を考えること、我が国が歩んできた「大まかな歴史」や「関連する先人の業績、優れた文化遺産」を理解することなど、小学校の歴史学習の趣旨を明示した。	

ウ 各学年 指導要領 目標及び内容

1 第3学年の目標	学指要解説 小学校社会科 P31
社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。 (1) <u>身近な地域や市区町村の地理的環境</u>，地域の安全を守るための諸活動や<u>地域の産業</u>と消費生活の様子，<u>地域の様子の移り変わり</u>について，<u>人々の生活との関連を踏まえて理解する</u>とともに，調査活動，地図帳や各種の具体的資料を通して，必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の特色や相互の関連，意味を考える力，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力，考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。 (3) 社会的事象について，主体的に学習の問題を解決しようとする態度や，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに，思考や理解を通して，<u>地域社会に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚を養う。</u>	
2 第3学年の内容	学指要解説 小学校社会科 P34 P37
(1) 身近な地域や市区町村（以下第2章第2節において「市」という。）の様子について，学習の問題を追究・解決する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) <u>身近な地域や自分たちの市の様子を大まかに理解すること。</u> (イ) 観察・調査したり地図などの資料で調べたりして，白地図などにまとめること。 イ 次のような思考力，判断力，表現等を身に付けること。 (ア) 都道府県内における市の位置，市の地形や土地利用，交通の広がり，市役所など主な公共施設の場所と働き，<u>古くから残る建造物の分布などに着目</u>して，身近な地域や市の様子を捉え，場所による違いを考え，表現すること。	【内容の取扱い】 身近な地域や市に古くから残る神社、寺院、伝統的な家屋など伝統的なまち並みの位置や広がり 【狭山市副読本 「わたしたちのまちさやま」】 3年生 P22 23 課題 古い建物は、どのような様子でしょう。 天岑寺山門 広福寺山門 八幡神社 本殿 観音堂長門 浅間神社 【博物館常設展示】 28 35 42 ※3年生では、古い建物の様子と位置を地図で確認することにとどまっているが4年生では調べたことを発表する。

(2) 地域に見られる生産や販売の仕事について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (内容の取扱い) (1) 略 (2) 地域にみられる生産や販売の仕事について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) <u>生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解すること。</u> (イ) 販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解すること。 (ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) <u>仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現すること。</u> (イ) 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現すること	【内容の取扱い】 生産の仕事は、地域の人々の生活と密着なかわりを持っている 【狭山市副読本「わたしたちのまちさやま」】 3年生 P50～53 課題 なぜお茶づくりがさかんになったのでしょうか。 お茶づくりのくふうをしらべましょう。 お茶の葉はどのように製品になるのでしょうか。 【博物館常設展示】 44 45 ※生産の仕事については、養蚕の仕事から狭山の斜子織とその発展に貢献した清水宗徳についての関連(4学年) 【博物館常設展示】 46 47 48 49
--	--

1 第4学年の目標	学指要解説 小学校社会科 P48 P62
社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して次のとおり資質・能力を育成することを目指す。 (1) 自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、<u>地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解する</u>とともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。 (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。	
2 第4学年の内容	学指要解説 小学校社会科 P62
(内容の取扱い) (1)(2)(3) 略 (4) <u>県内の伝統や文化、先人の働き</u>について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) <u>県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解すること。</u>	【内容の取扱い】 自分たちの住む県内の様々な場所で文化財や年中行事が受け継がれていること、それらは地域の歴史を伝えるものであることを基に、県内の伝統や文化について理解する。 【狭山市副読本「わたしたちのまちさやま」】 4年生 P58. 59 108 課題 地域にはどのような古いたてものが残っているでしょう。 ・ 広瀬神社 ・ 七曲井 ・ 八幡神社 ・ 今宿遺跡 ・ 影隠し地藏 ・ 観音堂長屋門 ・ 九頭竜大権現 ・ 大六天 ・ 生越道道標 ・ 庚申塔 ・ 天岑寺山門 ・ 富士浅間神社 ・ 化け地藏 ・ 弁財天

	課題 昔の様子を伝えるものにはどのようなものがあるでしょう。 家や学校の周りにはどのようなものがのこっているでしょう。 昔から続いている行事を調べてみましょう。 ・入間川七夕まつり ・甘酒祭り ・入曽のししまい ・広瀬の火祭り ・笹井の豊年足踊り ・柏原の十日夜 【博物館常設展示】 22 23 28 35 42 55 57 58
<u>(イ)地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解すること。</u>	【内容の取扱い】 ・開発、教育、医療、文化、産業などにおいて地域の発展に尽くした先人について、それらの先人は様々な苦心や努力を重ねて業績を成し遂げたことや、その苦心や努力が当時の人々の生活の向上や地域の発展に大きく貢献したことなどを基に、先人の働きについて理解することである。 ・県内の伝統や文化、先人の働きについて、博物館や資料館などを見学したり、昔と現在の市の地図や写真などの資料で調べたりして、年表にまとめることである。ここでは博物館や資料館などを見学して必要な情報を集める技能、地図や写真などの資料を結び付けながら情報を読み取る技能、調べたことを時間の経過に沿って年表などに整理する技能を身に付けることが大切である。 課題 ・水野の開発の様子をまとめてみましょう。

	【狭山市副読本「わたしたちのまちさやま」】 4年生 P79～83 清水宗徳について 課題 みんなの近くに、地域の発展につくした人にどのような人がいるでしょうか。 宗徳は、どのような人生を歩んだのでしょうか。 【博物館常設展示】 49 60 62 【狭山市副読本「わたしたちのまちさやま」】 4年生 P68～ きょう土を開く ※水野の開発について 課題 ・昔から残る井戸はどのようになっているでしょう。 ・きょう土にある開発のあとを調べに行ってみましょう。 ・畑の様子について気づいたことを話し合いましょう。
(ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。 イ次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 (ア) <u>歴史的背景や現在に至る経過，保存や継承のための取組などに着目して，県内の文化財や年中行事の様子を捉え，人々の願いや努力を考え，表現すること。</u> (イ) <u>当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して，地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え，先人の働きを考え，表現すること。</u>	【狭山市副読本「わたしたちのまちさやま」】 4年生 P66 課題 ・調べたことをもとにふるさと歴史マップをつくりましょう。 【狭山市副読本「わたしたちのまちさやま」】 4年生 P83 課題 ・学習したことを年表にしてまとめてみましょう。

第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 学指要解説 小学校社会科 P141	
2 内容の取扱いについての配慮事項 学指要解説 小学校社会科 P141 P144 ※ここでは、博物館社会科見学に係る内容について記載してあります。	
(1) 各学校においては、<u>地域の実態を生かし、児童が興味・関心をもって学習に取り組めるようにする</u>とともに、観察や見学、聞き取りなどの調査活動を含む具体的な体験を伴う学習やそれに基づく表現活動の一層の充実を図ること。また、社会的事象の特色や意味、社会に見られる課題などについて、多角的に考えたことや選択・判断したことを論理的に説明したり、立場や根拠を明確にして議論したりするなど言語活動に関わる学習を一層重視すること。	地域にある素材を教材化する 地域の学習活動の場を設ける 地域の人材を積極的に活用する 【内容の取扱い】 ・教師自身が各学校の置かれている<u>地域の実態把握に努め、地域に対する理解を深めるようにする。そして、地域の素材をどのように受け止め、地域の人々や施設などからどのような協力が得られるかについて明確にする必要</u>がある。それらを基に、地域の素材を教材化し、<u>地域の施設を積極的に活用</u>したり地域の人々と直接関わって学んだりする学習活動を位置付けた指導計画を作成することが大切である。
(3) <u>博物館や資料館などの施設の活用を図る</u>とともに、身近な地域及び国土の遺跡や文化財などについての調査活動を取り入れるようにすること。また、内容に関わる専門家や関係者、関係の諸機関との連携を図るようにすること。	近年、国や地方公共団体、企業などによって、博物館やその他の施設の整備が進められている。これらの諸施設を積極的に活用して、<u>社会科の見学や調査活動を行うことは、児童の意欲や学習効果を高める上で極めて重要なことである。</u>社会科の学習に活用できる博物館には、歴史博物館や郷土資料館のほか、例えば、魚や自動車などに関する博物館、水道、電気、ガス、原子力など資源・エネルギーに関する博物館、農業や漁業、林業、伝統的な工業などの地場産業に関する地域産業振興センターなど、多様なものがある。<u>地域にあるこれらの施設を積極的に活用することによって、児童の知的好奇心を高め、学習への動機付けや学習の深化を図ることができる。</u>

	ことができる。また，諸感覚を通して実物や本物に触れる感動を味わうことができる。学校での積極的な活用を通して，これらの施設を自ら進んで利用できるようになる。そのことは生涯に渡って活用する態度や能力の基礎となるものである 指導計画の作成に当たっては，<u>事前に施設，遺跡や文化財などの実情を把握するとともに，関係の機関や施設などとの連携を綿密にとることが大切である。その際，施設の学芸員や指導員などから話を聞いたり協力して教材研究を行ったり</u>して，指導計画を作成する手掛かりを得ることも一つの工夫である。
--	--